

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成21年12月17日 (2009.12.17)

【公開番号】特開2009-49537(P2009-49537A)  
 【公開日】平成21年3月5日 (2009.3.5)  
 【年通号数】公開・登録公報2009-009  
 【出願番号】特願2007-211593(P2007-211593)  
 【国際特許分類】

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

H 0 4 J 1/00 (2006.01)

H 0 4 W 76/02 (2009.01)

【F I】

H 0 4 J 11/00 Z

H 0 4 J 1/00

H 0 4 B 7/26 1 0 9 N

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月30日 (2009.10.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プライマリ同期チャンネルとセカンダリ同期チャンネルとが含まれた同期チャンネルを生成する生成部と、

前記同期チャンネルを含む信号を無線送信する送信部とを備え、

前記生成部において、複数種類のプライマリ同期チャンネル系列番号のそれぞれに対応するように、プライマリ同期チャンネルが複数種類規定されており、セカンダリ同期チャンネルは、複数種類のプライマリ同期チャンネル系列番号のそれぞれに対応して所定の生成多項式から導出されたスクランブルコードを使用することを特徴とする基地局装置。

【請求項 2】

前記生成部は、セクタに対応したスクランブルコードを使用することを特徴とする請求項 1 に記載の基地局装置。

【請求項 3】

前記所定の生成多項式から導出されるスクランブルコードは、線形帰還シフトレジスタ (LFSR) 系列に属することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の基地局装置。

【請求項 4】

前記所定の生成多項式から導出されるスクランブルコードは、M 系列であることを特徴とする請求項 3 に記載の記載の基地局装置。

【請求項 5】

前記セカンダリ同期チャンネルを特定することで、セル ID グループ及び無線フレームタイミングが特定されることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれかに記載の基地局装置。

【請求項 6】

プライマリ同期チャンネルとセカンダリ同期チャンネルとが含まれた同期チャンネルを生成するステップと、

前記同期チャンネルを含む信号を無線送信するステップとを備え、

前記生成するステップにおいて、複数種類のプライマリ同期チャンネル系列番号のそれぞ

れに対応するように、プライマリ同期チャンネルが複数種類規定されており、セカンダリ同期チャンネルは、複数種類のプライマリ同期チャンネル系列番号のそれぞれに対応して所定の生成多項式から導出されたスクランブルコードを使用することを特徴とする送信方法。

【請求項 7】

前記生成するステップは、セクタに対応したスクランブルコードを使用することを特徴とする請求項 6 に記載の送信方法。

【請求項 8】

前記所定の生成多項式から導出されるスクランブルコードは、線形帰還シフトレジスタ(LFSR)系列に属することを特徴とする請求項 6 または 7 に記載の送信方法。

【請求項 9】

前記所定の生成多項式から導出されるスクランブルコードは、M系列であることを特徴とする請求項 8 に記載の記載の送信方法。

【請求項 10】

前記セカンダリ同期チャンネルを特定することで、セルIDグループ及び無線フレームタイミングが特定されることを特徴とする請求項 6 から 9 のいずれかに記載の送信方法。

【請求項 11】

プライマリ同期チャンネルとセカンダリ同期チャンネルとが含まれた同期チャンネルを無線送信する基地局装置と、

前記基地局装置からの同期チャンネルを受信するユーザ装置とを備え、

前記基地局装置では、複数種類のプライマリ同期チャンネル系列番号のそれぞれに対応するように、プライマリ同期チャンネルが複数種類規定されており、セカンダリ同期チャンネルは、複数種類のプライマリ同期チャンネル系列番号のそれぞれに対応して所定の生成多項式から導出されたスクランブルコードを使用することを特徴とする無線通信システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】無線通信システム、基地局装置及び送信方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

一実施例では基地局装置が使用される。基地局装置は、プライマリ同期チャンネルとセカンダリ同期チャンネルとが含まれた同期チャンネルを生成する生成部と、前記同期チャンネルを含む信号を無線送信する送信部とを備え、

前記生成部において、複数種類のプライマリ同期チャンネル系列番号のそれぞれに対応するように、プライマリ同期チャンネルが複数種類規定されており、セカンダリ同期チャンネルは、複数種類のプライマリ同期チャンネル系列番号のそれぞれに対応して所定の生成多項式から導出されたスクランブルコードを使用することを特徴とする基地局装置である。